

平成23年度

FD 活動報告書（個人）

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 天内和人

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	「エンジニアリング・デザイン教育」ワークショップ
関連部署	専攻科
実施年月日	平成23年5月22日
実施場所等	東京（中央大学）
参加対象・参加人数等	大学・高専教員
具体的内容（概略）	エンジニアリング・デザイン教育に関する講習会

活動名・研修会名など	高等専門学校機関別認証評価に関する説明会
関連部署	自己評価委員会
実施年月日	平成23年6月22日
実施場所等	東京（学術総合センター）
参加対象・参加人数等	高等専門学校教職員
具体的内容（概略）	平成24年度に実施される高等専門学校機関別認証評価に関する説明会

活動名・ 研修会名など	JABEE 審査講習会
関連部署	専攻科
実施年月日	平成23年7月23日
実施場所等	東京（芝浦工業大学）
参加対象・ 参加人数等	JABEE プログラム責任者等
具体的内容 （概略）	平成23年度 JABEE プログラム審査に関する講習会

活動名・ 研修会名など	四国地区高等専門学校教員研究集会「課題設定力と課題解決力の育成について」
関連部署	専攻科
実施年月日	平成23年7月27日～28日
実施場所等	高知
参加対象・ 参加人数等	高専教員
具体的内容 （概略）	四国地区高専によるエンジニアリング・デザイン教育事例紹介

活動名・ 研修会名など	全国高専教育フォーラム
関連部署	専攻科
実施年月日	平成23年8月23日～25日
実施場所等	鹿児島（鹿児島大学）
参加対象・ 参加人数等	高専関係教職員

具体的内容 (概略)	「専攻科における学位授与試験の位置付けとその対策」と題して事例紹介
---------------	-----------------------------------

活動名・ 研修会名など	専攻科実務者会議
関連部署	専攻科
実施年月日	平成23年9月15日～16日
実施場所等	八代(熊本)
参加対象・ 参加人数等	高専専攻科実務者(専攻科長)
具体的内容 (概略)	「海外長期インターンシップ」に関して事例紹介

活動名・ 研修会名など	ティーチング・ポートフォリオの導入・活用シンポジウム
関連部署	専攻科
実施年月日	平成23年11月18日
実施場所等	佐賀(佐賀大学)
参加対象・ 参加人数等	大学・高専教員
具体的内容 (概略)	ティーチング・ポートフォリオおよびアカデミック・ポートフォリオに関する講演および事例紹介

活動名・ 研修会名など	金沢工業大学・金沢高専「CLE2 成果発表会・審査会」
関連部署	専攻科

実施年月日	平成23年11月22日
実施場所等	金沢（金沢高専）
参加対象・ 参加人数等	大学・高専教員
具体的内容 （概略）	金沢高専における CLE2（専門科目と英語との共同教育）に関する発表会および 審査会

活動名・ 研修会名など	菌根研究会
関連部署	一般科目
実施年月日	平成23年12月10日
実施場所等	東広島（広島大学）
参加対象・ 参加人数等	菌根研究会会員
具体的内容 （概略）	菌根研究に関する講演会

活動名・ 研修会名など	「JABEE 認定制度と2012年度基準改正」
関連部署	専攻科
実施年月日	平成24年1月31日
実施場所等	福岡（九州大学）
参加対象・ 参加人数等	JABEE プログラム責任者等
具体的内容 （概略）	JABEE 基準改正に関する講習会

活動名・ 研修会名など	日工協ワークショップ「技術者倫理」
関連部署	専攻科
実施年月日	平成24年2月12日
実施場所等	東京（工学院大学）
参加対象・ 参加人数等	大学・高専教員
具体的内容 (概略)	技術者倫理教育に関するワークショップ

活動名・ 研修会名など	日工協ワークショップ「エンジニアリング・デザイン教育」
関連部署	専攻科
実施年月日	平成24年2月25日
実施場所等	東京（工学院大学）
参加対象・ 参加人数等	大学・高専教員
具体的内容 (概略)	エンジニアリング・デザイン教育に関するワークショップ

活動名・ 研修会名など	工学教育研究講演会
関連部署	一般科目および専攻科
実施年月日	平成23年9月8日～10日
実施場所等	札幌（北海道大学）
参加対象・ 参加人数等	大学・高専教員

具体的内容 (概略)	日本工学教育協会第59回年次大会 「高専専攻科における英語教育改革-『英語力向上タスクフォース II』の取組みと効果」講演発表
---------------	--

活動名・ 研修会名など	生物教育学会
関連部署	一般科目
実施年月日	平成24年1月7日～8日
実施場所等	神戸（兵庫医療大学）
参加対象・ 参加人数等	生物教育学会会員
具体的内容 (概略)	「高等専門学校における生命科学教育 I」講演発表

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名：国重 徹

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	全国高専教育フォーラム 教育教員研究集会
関連部署	一般科目
実施年月日	H23. 8.23- 8.24
実施場所等	鹿児島大学
参加対象・ 参加人数等	全国の高専の教員・本校から7名の教員が参加
具体的内容 (概略)	機構本部が策定を進めているモデルコアカリキュラムの英語部門主査としてそのカリキュラム作成における留意点や方向性及び、カリキュラムの特長等を発表した。

活動名・ 研修会名など	中国地区高専教育研究集会
関連部署	一般科目
実施年月日	H23.12.16
実施場所等	呉工業高等専門学校 広島テクノショップランチ
参加対象・ 参加人数等	本校から数名の教員が参加
具体的内容 (概略)	「英語多読を用いた、英語嫌い・英語学習に対する中だるみ解消の取り組み」というタイトルで、本校の英語教育の実践について発表した。

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 笠置 映寛 _____

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	H23 年度高等専門学校新任教員研修会
関連部署	
実施年月日	8/29(月)-31(水)
実施場所等	国立オリンピック記念青少年総合センター
参加対象・参加人数等	高専新任教員
具体的内容 (概略)	高専教員に求められる資質に関する講演が行われた。約10名ほどのグループに分かれ、決められた議題について討議し、その集約した内容に関する発表が行われた。

活動名・研修会名など	新任若手教官向け知的財産セミナー
関連部署	
実施年月日	2/13(月)
実施場所等	牧野研究室
参加対象・参加人数等	新任教員・2名
具体的内容 (概略)	特許成立の基本要件、特許取得のノウハウ、研究現場で生じやすい発明者認定問題、知財に取り組む意義、研究成果からの特許の創出法

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 高橋 愛

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	全国高専教育フォーラム
関連部署	
実施年月日	平成23年8月23日～24日
実施場所等	鹿児島大学
参加対象・ 参加人数等	全国高専教員
具体的内容 (概略)	「英語力向上タスクフォースⅡ」の取組とその効果に関する発表を行った。 全国高専教員による教育研究に関する研究発表が行われた。また機構担当者によるモデルコアカリキュラム案に関する説明が行われた。

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 前 川 直 也

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	平成23年度第1回徳山地区8高等学校生徒指導連絡協議会
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成23年4月19日（火）13:30～
実施場所等	山口県桜ヶ丘高等学校
参加対象・参加人数等	南陽工業高等学校、徳山北高等学校、桜ヶ丘高等学校、徳山高等学校、徳山高等学校鹿野分校、新南陽高等学校、徳山工業高等専門学校、熊毛北高等学校、徳山商工高等学校
具体的内容（概略）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会行事 <ol style="list-style-type: none"> 1) 開会あいさつ 2) 自己紹介 2. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成23年度事業計画について説明された。 2) 中・高生徒指導連絡会（中学校訪問）について説明された。 3) 協議題について協議された。 4) 情報交換、各学校の現況についての情報交換がなされた。

活動名・研修会名など	平成23年度徳山地区高等学校等生徒指導連絡協議会第2回生徒指導主任専門会議
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成23年10月18日（木）13:30～
実施場所等	山口県立徳山高等学校
参加対象・参加人数等	南陽工業高等学校、徳山北高等学校、桜ヶ丘高等学校、徳山高等学校、徳山高等学校鹿野分校、新南陽高等学校、徳山工業高等専門学校、熊毛北高等学校、徳山商工高等学校、下松工業高等学校、華陵高等学校、下松高等学校、聖光高等学校、光丘高等学校、光高等学校、

具体的内容 (概略)	1. 開会行事 (1) 会場校校長挨拶 (2) 出席者自己紹介 2. 研究協議 4 題について協議された。 3. 情報交換、各校の現況の情報交換がなされた。 4. 学校安全・体育課から、指導主事 大下康一郎様より資料に基づき説明がなされた。 5. 閉会行事
---------------	--

活動名・ 研修会名など	平成 23 年度 第 3 回 徳山地区 8 高等学校生徒指導連絡協議会
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成 24 年 2 月 6 日 (月) 13:30～
実施場所等	山口県桜ヶ丘高等学校
参加対象・ 参加人数等	南陽工業高等学校、徳山北高等学校、桜ヶ丘高等学校、徳山高等学校、徳山高等学校鹿野分校、新南陽高等学校、徳山工業高等専門学校、熊毛北高等学校、徳山商工高等学校
具体的内容 (概略)	1. 開会行事 (1) 開会挨拶 (2) 指導助言者紹介 (3) 諸連絡 2. 協議事項 (1) 関係機関との情報交換、周南警察署少年係長三宅俊晴氏より情報が提供された。(資料 2 種類) (2) 各校からの協議題、2 題について協議された。 (3) 学校間の情報交換、各校の現況の情報交換がなされた。 3. 閉会行事

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 牧野 俊昭

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	H23年度（第4回中国地区高専）テクノ・マーケット in 津山
関連部署	テクノ・リフレッシュ教育センタ
実施年月日	平成23年12月3日～4日
実施場所等	岡山県津山市の津山国際ホテル
参加対象・参加人数等	中国地区8高専の教職員・学生など、378名
具体的内容（概略）	文部科学省産学官連携戦略展開事業で、中国地区8高専の広域連携を図るため、津山国際ホテルにて、第4回目のテクノ・マーケット in 津山を実施した。取りまとめの拠点校として、企画立案して開催校の津山高専をバックアップした。そのとりまとめを行った。その成果として、総勢378名の参加者があり、徳山高専から、学生40名、教職員25名が参加して、FD教育を行った。

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 藤田 重隆

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	平成23年度5年生担任連絡会
関連部署	
実施年月日	毎月2回程度
実施場所等	機械電気5年担任藤田研究室
参加対象・ 参加人数等	機械電気、情報電子および土木建築5年担任 3名
具体的内容 (概略)	5年生の全クラスの状況の認識と対応の検討 1) 各クラスの現在の状況、 2) 各クラスの就職および進学の様況 3) 発生した事象の共有化、 4) 計画していることについての運営方法、 等についての共通認識を持つこと

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 飛車来人

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	全国高専教育フォーラム
関連部署	教務主事室
実施年月日	平成23年8月23日～24日
実施場所等	鹿児島大学
参加対象・ 参加人数等	全国高専教員
具体的内容 (概略)	全国高専教員による教育研究に関する研究発表が行われた。また機構担当者によるモデルコアカリキュラム案に関する説明が行われた。これにより高専が今後目指す方向や検討すべき課題がいくつか示された。

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 張 間 貴 史

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	平成23年度 第1回愛育会理事会
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成23年7月12日（火）14:00～
実施場所等	周陽公民館 講堂
参加対象・参加人数等	徳山高校、徳山商工高校、徳山高専、桜ヶ丘高校、周陽中学校、今宿小学校、岐山小学校、徳山小学校、桜木小学校、秋月小学校、遠石小学校、岐陽中学校、秋月中学校、住吉中学校、周陽小学校
具体的内容（概略）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度事業報告・決算報告及び監査報告 ・平成23年度事業計画(案)・予算(案) ・関係機関との情報交換 ・夏季休業中の校外巡視計画 ・善行表彰について ・生徒指導の取り組み又は学校紹介・グループ討議

活動名・研修会名など	平成23年度 第2回愛育会理事会
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成23年12月8日（木）14:00～
実施場所等	周南市文化会館 地下展示室
参加対象・参加人数等	徳山高校、徳山商工高校、徳山高専、桜ヶ丘高校、周陽中学校、今宿小学校、岐山小学校、徳山小学校、桜木小学校、秋月小学校、遠石小学校、岐陽中学校、秋月中学校、住吉中学校、周陽小学校
具体的内容（概略）	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との情報交換 ・冬季休業中の校外巡視計画 ・善行表彰について ・講演（子ども家庭相談室）

活動名・ 研修会名など	平成 23 年度 第 3 回愛育会理事会
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成 24 年 3 月 2 日（金）14:00～
実施場所等	周陽公民館 講堂
参加対象・ 参加人数等	徳山高校，徳山商工高校，徳山高専，桜ヶ丘高校，周陽中学校，今宿小学校，岐山小学校，徳山小学校，桜木小学校，秋月小学校，遠石小学校，岐陽中学校，秋月中学校，住吉中学校，周陽小学校
具体的内容 （概略）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関との情報交換 ・ 冬季休業中の校外巡視報告及び学年末・初め休業中の巡視計画 ・ 善行表彰について ・ 23 年度事業報告及び決算中間報告 ・ 平成 24 年度当番校などについて ・ 生徒指導の取り組み・グループ別協議

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 鈴木 厚行

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	公開授業
関連部署	
実施年月日	平成23年12月8日（木）
実施場所等	徳山高専
参加対象・ 参加人数等	学生：21名（環境建設工学専攻1年）、教員：3名、教育モニター：2名
具体的内容 （概略）	「構造設計論」（環境建設工学専攻1年）の公開授業に参加した。また、授業終了後のレビュー会に参加し、授業の進め方・学生の理解度・板書等の使い方・学生の参加意欲の向上のさせ方などについて話し合った。

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 佐賀 孝徳

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	H23 徳山地区高等学校等生徒指導連絡協議会 第1回生徒指導主任専門会議
関連部署	学生主事室
実施年月日	H23年5月20日（金） 13時30分～
実施場所等	県立光丘高等学校 会議室
参加対象・ 参加人数等	徳山地区高等学校の生徒指導主任等 計23人
具体的内容 (概略)	<ol style="list-style-type: none"> 1 会長あいさつ 徳山北高校校長 江村順子 会長として、挨拶が行われた 2 出席者自己紹介 23名自己紹介 3 報告・協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) H22年度事業報告 承認 別紙 (2) H22年度決算報告 承認 別紙 (3) 予算に関する改正について (4) H23年度事業計画(案) 承認 別紙(総会1、研修会1、専門会議3、車中指導・巡視) (5) H23年度予算(案) 承認 別紙 (6) 総会の開催について 別紙案内有(6月24日(木)13時30分～16時30分;周南総合スポセン) 4 連絡事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) JR業務証明書交付承認願について (2) 校外巡視報告書について・・・廃止 5 研究協議 <ol style="list-style-type: none"> (1) アルバイト許可に必要な書類について(桜ヶ丘高校) (2) 部の統廃合について (3) その他 6 情報交換

活動名・ 研修会名など	平成23年度徳山地区高等学校生徒指導連絡協議会総会ならびに研究協議会
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成23年6月23日(木)13時30分～16時

実施場所等	キリンビバレッジ周南総合スポーツセンターカルチャールームおよび会議室
参加対象・参加人数等	徳山地区高等学校の校長、生徒指導担当教員およびPTA会長
具体的内容 (概略)	<p>1. 開会行事</p> <p>(1) 会長挨拶 山口県徳山北高等学校長・江村順子様より挨拶があった。内容は、非行防止、健全育成のために、子供たちへの愛情の掛け方で、「赤子は肌を離すな、幼児には手を離すな、子供には目を離すな、若者には心を離すな」の喩えを用いながら、問題行動を起こす生徒の「心」に重点をおいた指導の必要性を話された。</p> <p>2. 総会</p> <p>(1) 平成22年度事業報告について 事業報告、承認</p> <p>(2) 平成22年度決算報告について 決算報告、承認</p> <p>(3) 予算に関する改正について</p> <p>(4) 平成23年度事業計画(案)について 説明、承認</p> <p>(5) 平成23年度予算(案)について 説明、承認</p> <p>3. 情報交換および研究協議会</p> <p>(1) 周南警察署(少年係長 三宅俊晴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万引きが増加傾向 ・子供の非行について <p>(2) 東部少年サポートセンター(係長 田中美智子)</p> <p>(3) 西日本旅客鉄道株式会社徳山駅(副駅長 山本勝文)</p> <p>(4) サンリブ下松店(店長 骨田 寛)</p> <p>(5) 周南市立岐陽中学校 校長</p>

活動名・研修会名など	H23年度南市中周高生徒指導連絡協議会
関連部署	学生主事室
実施年月日	H22年6月24日(金) 14時00分～
実施場所等	桜ヶ丘高等学校 会議室
参加対象・参加人数等	周南市内の17中学校16人・8高等学校11人生徒指導担当教員 高専1人 計28人
具体的内容 (概略)	<p>(1) 中・高の現状報告について</p> <p>(2) 各校からの提出議題について</p> <p>(3) その他</p> <p>中高生徒指導連絡協議会の当番校について H23(桜ヶ丘) H24(徳山) H25(新南陽) H26(南陽工) H27(徳山北)</p>

活動名・研修会名など	H23年度 第2回徳山地区8高等学校生徒指導連絡協議会
関連部署	学生主事室

実施年月日	H23年11月4日(金) 14時00分～
実施場所等	桜ヶ丘高等学校 会議室
参加対象・参加人数等	徳山地区高等学校の生徒指導主任等 計14人
具体的内容 (概略)	<ol style="list-style-type: none"> 1 会長あいさつ 桜ヶ丘高校校長 辻岡 敦 2 出席者自己紹介 23名自己紹介 2 指導助言者紹介 周南警察署 少年係長 三宅俊晴 3 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 関係機関との情報交換 別紙資料 (2) 1) 交通事故(自転車事故)について 2) 登下校のマナーについて 3) 自転車の盗難について (3) 学校間の情報交換

活動名・研修会名など	平成23年度徳山地区高等学校生徒指導連絡協議会 研修会
関連部署	学生主事室
実施年月日	H23年12月8日(木) 13時30分～
実施場所等	熊毛公民館2F会議室(ゆめプラザ熊毛内)
参加対象・参加人数等	徳山地区高等学校の校長、生徒指導担当教員およびPTA会長
具体的内容 (概略)	<ol style="list-style-type: none"> 1 当番校校長あいさつ 熊毛北高校校長 清水 利宏 2 関係機関との情報交換 <ol style="list-style-type: none"> (1) 光警察署生活安全課 課長 刀禰 昌法 資料あり (2) 周南警察署生活安全課 少年係長 三宅 俊晴(代理として) 3 講演 <p>演題「東日本大震災を踏まえて何を準備すべきか」</p> 山口大学工学部教授 三浦 房紀様 4 研究協議及び情報交換 5 閉会行事 あいさつ 来年度当番校 聖光高等学校 校長 井上 需弉様

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 古田 健一

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	公開授業およびそのレビュー会
関連部署	学習・教育レビュー室
実施年月日	平成23年12月8日
実施場所等	専攻科棟2階講義室1と管理棟1F小会議室
参加対象・参加人数等	公開授業担当教員、関連授業担当教員、学科内教員、他学科教員、学外教育モニター、公開授業担当エグザミネー計7人
具体的内容（概略）	構造設計論（専攻科1年）の公開授業の後に授業に対する講評があった。

活動名・研修会名など	平成23年度「すべての建築士のための特別総合研修」講師
関連部署	山口県建築士会
実施年月日	平成24年3月16日
実施場所等	下関市勤労福祉会館
参加対象・参加人数等	山口県下の建築士（1級・2級・木造）約50人
具体的内容（概略）	木造住宅の関連法規、工法、耐震設計等について最新の知識を講義した。

活動名・ 研修会名など	建築士指定講習会講師
関連部署	山口県建築士会
実施年月日	平成 23 年 10 月 21 日、平成 24 年 1 月 20 日、平成 24 年 3 月 30 日
実施場所等	山口県セミナーパーク
参加対象・ 参加人数等	山口県下の一級・二級・木造建築士、約 100 人× 3 回
具体的内容 (概略)	建築物の建築に関する関連法規の改正内容、設計および工事監理に関する最新の知識を講義した。

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 田村 隆弘

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	津山高専学寮視察
関連部署	学寮
実施年月日	平成23年10月21日
実施場所等	津山高専
参加対象・参加人数等	8名
具体的内容 (概略)	津山高専の学寮見学を行い、津山高専の寮務主事から学寮運営についての説明を聞いた。

活動名・研修会名など	高知高専学寮視察
関連部署	学寮
実施年月日	平成23年12月15日
実施場所等	高知高専
参加対象・参加人数等	5名
具体的内容 (概略)	高知高専の学寮見学を行い、高知高専の寮務主事から学寮運営についての説明を聞いた。

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 熊野 稔

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	周南まちづくりコンテスト 2011 審査委員・表彰式出席・シンポジウム出席
関連部署	総合企画室 徳山高専共催事業
実施年月日	2011年10月8日、11月5日
実施場所等	徳山大学
参加対象・参加人数等	一般・学生 約100人
具体的内容（概略）	周南市のスポーツ振興に関わるまちづくり提案のコンテスト。徳山大学主催、徳山高専・周南市共催）の企画普及、学生への指導・アドバイスをを行い、審査員を勤める。10/8最終審査会、11/5発表会シンポ（勤務時間外）、徳山高専の学生が最優秀賞を受賞した。その後、周南市長も来校し、学生とともに、まちづくりコンテスト発表懇談会を行った。学生のまちづくり学習へのモチベーションを高めるのに貢献したと思われる。

活動名・研修会名など	日本建築学会主催「広島県史跡 呉市豊町御手洗地区『若胡子屋跡』の活用を考えるワークショップ」参加指導
関連部署	土木建築工学科・地域連携室
実施年月日	2012年2月18日
実施場所等	呉市豊町御手洗地区公民館
参加対象・参加人数等	学生・教員 約60人
具体的内容（概略）	「広島県史跡 呉市豊町御手洗地区『若胡子屋跡』の活用を考えるワークショップ」を開催して、日本建築学会中国支部農村計画委員会委員長として参加し、参加学生の指導に当たった。フィールドを活用した学生のデザイン演習教育に大きな成果が期待できるシャレットワークショップの実務的研修としても大きな成果があった。

活動名・研修会名など	日本建築学会中国支部 教育普及事業シンポジウム テーマ「農村再生への組織づくりを考える」の企画・実施・講演
------------	--

関連部署	地域連携室・熊野研究室
実施年月日	平成 23 年 9 月 22 日・23 日（金曜日） 10 時～15 時
実施場所等	広島大学 学士会館 2 階レセプションホール
参加対象・参加人数等	一般・学生 約 60 名
具体的内容（概略）	日本建築学会中国支部農村計画委員会委員長として農村計画本員会とコラボレーションで企画実施し、中国支部都市計画委員会も協賛した。前日にファーム小田の見学、23 日に講演会を実施した。①「地元組織と外部支援による農山漁村のサステナビリティ」 熊野稔 ②「農山村支援の NPO 等による新たな公」 NPO ひろしまね 安藤周治様 ③「集落営農の先進、農事組合法人『ファーム・おだ』」 組合長 吉弘昌昭様 ④自治振興区 庄原市と地域振興会 安芸高田市 熊野稔 ⑤「小国版“小さな役場づくり”による地域経営」（新潟県長岡市 旧小国町） NPO 法人 MTN サポート 事務局長 高橋実 様 ⑥「市町村合併後の新たな公共サービスと地域組織形成のゆくえ」 斎尾直子

活動名・研修会名など	「地域づくり道の駅サミット」 企画・実施・講演 テーマ「農山漁村の地域振興と道の駅」山口県地方自治セミナー・山口県地方自治研究センター主催：日本建築学会共催
関連部署	地域連携室・熊野研究室
実施年月日	2011.12. 3
実施場所等	萩市 千春楽
参加対象・参加人数等	地方自治体職員・一般市民・道の駅駅長・学生 約 160 名
具体的内容（概略）	萩市道の駅社会実験 20 周年記念を記念してのシンポジウムを企画・実行委員長を果たすとともに、講演「『道の駅』のサービスと地域振興及び防災拠点への方向性～連携的発展のために～」を演題として行い、盛況に終わり成功した。萩市長や阿武町長、山口県や道の駅関係者からも感謝され、新聞や TV 報道がなされて徳山高専の地元への存在意義を高めた。

活動名・研修会名など	豊橋技術科学大学 高専連携教育研究プロジェクト「成熟社会下の地方都市における郊外土地利用マネジメント手法の検証；」の採択と実施。
関連部署	地域連携室・熊野研究室
実施年月日	2011 年度
実施場所等	徳山高専・熊野研究室
参加対象・	熊野・浅野；研究室学生 8 名

参加人数等	
具体的内容 (概略)	「成熟社会下の地方都市における郊外土地利用マネジメント手法の検証；3年間継続した本テーマの最終年度である。 「地区計画制度等を活用した地方都市の郊外土地利用マネジメント手法の検証—東広島市を事例として—」を実施し、論文に纏めた。論文をまとめる過程で研究室の学生の研究教育に大いに役立った

活動名・ 研修会名など	豊橋技術科学大学 高専連携教育研究プロジェクト「環境工学と都市工学の融合による新たな環境都市づくり分野の教育プログラム開発と人材育成」の採択と実施
関連部署	地域連携室・熊野研究室
実施年月日	2011年度
実施場所等	熊野研究室・増田研究室 学生8名
参加対象・ 参加人数等	増田幸宏 豊橋技術科学大学准教授・(取りまとめ・総括・教育プログラム・ガイドブック等作成) 熊野稔 徳山高専教授 (教育プログラム・ガイドブック作成用の内容・図表等の提案)、熊野研究室の学生・8名
具体的内容 (概略)	<p>都市の急成長と人口の集中に対応するために、交通施設や供給処理施設において従来一般的に行われてきた人工系・動脈系を中心とした均一な都市基盤整備のあり方は、高度経済成長を経て成熟社会を迎えた現在転換期を迎えている。都市の持続可能性を追求する観点から、生活者の視点で、真に豊かな都市づくりの新たな方策が求められている。こうした次世代の新たな環境都市づくりを推進するために、本申請プロジェクトにおいては、環境工学と都市工学の融合による新たな環境都市づくり分野の人材育成に向けた教育プログラム開発に取り組むものである。教育プログラムについては、環境工学と都市工学の関連講義の中で使えるようガイドブックやパンフレットの形で取りまとめることを予定している。教育プログラムやガイドブックの作成にあたり、教育に効果的な事例の収集や現状調査、環境工学と都市工学の関連講義の現状調査、教育プログラムやガイドブックの実際の活用法策等について、協働した。</p> <p>具体的には、以下の内容で教育プログラムやガイドブックの図表等、内容を作成した。①地球環境問題の課題と対策、②ヒートアイランド、ダストドーム、ゲリラ豪雨、ビル風などの都市環境問題の課題と対策、③社会経済と環境問題、各種の汚染による健康被害、環境ホルモン、ゴミ問題・廃棄物処理とダイオキシン等、④環境基本法と関連法の基礎、自治体の環境基本計画、都市環境計画の内容、⑤循環型社会の形成として、物質循環、水・エネルギーの循環、省エネとリサイクル、循環型社会形成基本法及び関連法体系、⑥建設副産物等のリサイクルの経緯と内容及び事例、バイオマスの活用、⑦自然再生と生物多様性保全及び環境のまちづくり、⑧快適環境づくりの手法、⑨美しいまちなみの景観形成・景観まちづくり、⑩環境アセスメント、⑪環境マネジメントとエコシステム、⑫持続可能な環境保全策；低炭素社会の構築に向けて。専攻科で教えている都市環境計画の講義のスキルアップに大いに役立った。</p>

活動名・ 研修会名など	第 23 回高専・技科大建設系教員研究交流集会（豊橋） 参加・講演発表
関連部署	地域連携室
実施年月日	2011. 8. 28
実施場所等	豊橋技術科学大学
参加対象・ 参加人数等	豊橋技術科学大学教員・長岡技術科学大学教員・高専教員・学生 約 50 名
具体的内容 (概略)	技科大・高専の連携により教育・研究を発展させる集会事業であり、「復興・ものづくり—負けない技術力への期待」というテーマのもと、「道の駅における震災対応と復興支援」という演題で講演し、かつパネラーとしても発表した。技科大と高専の連携による FD 活動である。

活動名・ 研修会名など	建築法規教材の開発 日本建築学会法制委員会教育普及小委員会
関連部署	熊野研究室
実施年月日	2011 年度
実施場所等	建築会館
参加対象・ 参加人数等	日本建築学会法制委員会教育普及小委員会 9 名
具体的内容 (概略)	新しい法制度に準拠した日本建築学会編の建築法規用教材を共著で執筆・編集した。できるだけ最新の内容で建築法規の講義を行っており、講義のスキルアップに大いに役立った。

活動名・ 研修会名など	「事故 0 に向かって発信」 研修講演会 参加と講演 国土交通省山口河川国道工事事務所管内合同協議会
関連部署	地域連携室・熊野研究室
実施年月日	2011.11. 11
実施場所等	山口県セミナーパーク
参加対象・ 参加人数等	国土交通省山口河川国道工事事務所管内合同協議会会員 約 300 名

具体的内容 (概略)	「人間は事故をしやすい生き物・・・だからリスク管理を」という演題でパワーポイントを使用して講演した。
---------------	--

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 目 山 直 樹

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	CAHP 操作説明会
関連部署	土木建築工学科
実施年月日	平成23年4月25日 16時～17時30分、1.5時間
実施場所等	管理棟3階演習室
参加対象・参加人数等	CA 教員 10名
具体的内容 (概略)	講師 (株)EDL 代表 平塚 知真子氏 CAHP 担当 大槻 真悠子氏 内容 HP 更新のための NetCommons2 の基本操作説明 CAHP の特徴と活用例の提案・質疑回答

活動名・研修会名など	高専機構教員研修（クラス経営・生活指導研修会）
関連部署	教務主事室
実施年月日	平成23年9月7日～9日
実施場所等	学術総合センター2階
参加対象・参加人数等	教員・110名程度
具体的内容 (概略)	【目的】 青年期における複雑な学生の心理や言動を理解し、円滑なクラス経営を営む資質能力の向上を図る。 9/7 午後13:00-17:00 開講式・講演「高専・高専機構の現状と課題」 機構理事 木谷雅人 講義「スクールコンプライアンス」 講義「国立高専を取り巻く昨今の動向-技術者教育に向けた教員の資質向上」 9/8 9:00-17:00 講義「クラス経営・生活指導の基礎、それも、これも教師の仕事」 講義「よりよいクラス経営・生活指導のために」 9/9 9:00-12:25 講義「クラス経営と学生理解」 閉講式

	■資料あり
--	-------

活動名・ 研修会名など	安心・安全の日講演会・講師
関連部署	徳山高専 総務課
実施年月日	平成 23 年 12 月 7 日 16:10～ (1 時間半程度)
実施場所等	メディアホール
参加対象・ 参加人数等	全教員のうち、56 名
具体的内容 (概略)	<p>【テーマ】 家庭の防災・地域の防災</p> <p>【研修内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 土砂災害について 2. 土砂災害の画像を見る 3. ハザードマップを使ってみる 演習 4. 今日の宿題 家庭で避難場所を話し合っておく

活動名・ 研修会名など	防災教育と学生ボランティア支援セミナー 日本学生支援機構主催
関連部署	
実施年月日	平成 23 年 12 月 22 日 10 時 30 分～17 時 00 分
実施場所等	学術総合センター・一橋記念講堂
参加対象・ 参加人数等	全国の大学・高専の教員、参加者 200 名程度
具体的内容 (概略)	<p>開会式 挨拶 日本学生支援機構 学生生活部長 文部科学省高等教育局学生・留学生課課長補佐</p> <p>講演① 「想定を超える災害にどう備えるか」 群馬大学教授 片田敏孝</p> <p>講演② 「ボランティア活動を支援する教育的意義と展望」 昭和女子大学興梠寛</p> <p>パネルディスカッション</p>

活動名・研修会名など	平成 23 年度高専・技科大連携教員研究集会
関連部署	
実施年月日	平成 24 年 1 月 6 日 11 時～17 時、5 時間半程度
実施場所等	豊橋技術科学大学 事務局棟 3 階会議室
参加対象・参加人数等	全国の高等専門学校教員 全 54 名 豊橋技術科学大学高専連携室等の関係教職員
具体的内容 (概略)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別推薦入学試験の実施状況（平成 24 年度入学） ・ 意見交換会・高専・技科大の連携について 技科大のカリキュラムと高専側の連携について学科別に意見交換を行った。 (建築・都市システム学系) 技科大側：新カリキュラムでは、建築系、土木系が明確に分かれるため、 学生の融和が難しくなった。次回、見直し時には、科目を融合 させたいが、JABEE や建築士受験資格との関わりで、単純に 行かない。 高専側：徳山の場合、建築士に対応したプログラムとするため、5 年生まで 共通のプログラムに変えた。次回の見直しでは、再検討を予定。 他の土木系高専からは、豊橋技科大への進学希望者は建築コースと いうイメージがある。どのような背景の学生を取りたいのかはつき り明示してほしい。高専から技科大に進学する際は、豊橋か、長岡 かの選択を、何を基準にすればよいかを知りたい。

活動名・研修会名など	「自主防災リーダー研修会」の講師 防府市防災危機管理課主催
関連部署	
実施年月日	平成 24 年 2 月 5 日 10 時～15 時 30 分
実施場所等	防府市文化福祉会館
参加対象・参加人数等	防府市内の自主防災組織のリーダー 約 150 名
具体的内容 (概略)	<p>【第 1 部】 10 時～正午 テーマ「自主防災の仕組みづくりは、街づくりの仕組みづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演「自然災害と防災」～水害、土砂災害など～ ・ 図上演習 ・ 自主防災組織の運営・管理ほか <p>対象者：新規結成組織及び前年度未受講組織のリーダー（43 自治会）</p> <p>【第 2 部】 13 時 30 分～15 時 30 分 テーマ「自治会や団体単位での自主防災の実践とその課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例報告（2 団体予定） ・ 意見交換会 ・ 講演「自主防災組織の取組み事例にみる成果ほか」 <p>対象：前年度受講組織のリーダー（59 自治会）</p>

活動名・研修会名など	「周南市長と徳山高専学生とのまちづくり懇談会」の企画と司会進行
関連部署	周南市企画課，徳山高専総合企画室事務室など
実施年月日	平成24年2月7日 16時から1時間程度
実施場所等	本校管理棟1階会議室
参加対象・参加人数等	周南市長木村健一郎氏，ほか周南市職員2名 徳山高専 学生6名 周南まちづくりコンテスト2011入賞者・参加者 3名 卒業研究・特別研究で「まちづくり」に取り組む学生 2名 誰にも持っていけない安心傘 発明者 1名 井上校長，以下，教職員 7名
具体的内容(概略)	目山の司会にて進行. ・周南市長挨拶 ・参加者紹介 ・プレゼンテーション 1.ウォーキングとジョギングによるまちづくり CA3 島添 2.市民，企業，行政の連携によるスポーツ環境の創造 CA5 国澤 3.誰にも持っていけない安心傘 ME5 黒田 ・市長による感想，意見交換 ・ポスターによるプレゼン ○卒業設計 富永酒造を中心とした櫛が浜地区の活性化計画 CA5 宮川 ○特別研究 徳山高専を核とする交通まちづくり EC1 片山 ・懇談会 ・校長あいさつ 市長からは，学生たちのアイデアを含め，市民のリーダーシップを活かしたまちづくりの取り組みを展開したい旨の講評がなされ，周南市後期基本計画のなかに「おもやい」という，たすけあいの視点を盛り込んでいくことの説明があった．高専側からは，このような学生たちのアイデアだけでなく，まちづくりの学生委員などの登用を含め，今後さらに発展させていただきたい旨の意見が示された．

活動名・研修会名など	松崎地区自主防災研修会の講師 防府市松崎地区自治会連合会主催
関連部署	防府市防災危機管理課
実施年月日	平成24年2月16日 19時から2時間程度
実施場所等	防府市松崎地区公民館
参加対象・参加人数等	松崎地区内の自治会関係者 50名程度

具体的内容 (概略)	テーマ 家庭の防災・地域の防災 研修内容 ・自然災害の科学 土砂災害のしくみ, 土砂災害の画像 ・避難時の安全確保 ハザードマップを使った演習 ・自主防災の取り組み 防府市の状況 ・東日本大震災にみる教訓 釜石市の児童・生徒の生存率 99.8%
---------------	---

活動名・ 研修会名など	「専門家と連携した防災出前授業」の講師 山口県教育庁主催
関連部署	土木建築工学科
実施年月日	平成 23 年 6 月～平成 24 年 3 月
実施場所等	山口県内の小学校 (3 校)・中学校 (6 校)
参加対象・ 参加人数等	6/15 岩国市立通津中学校 2 年生 28 名 担当 渡邊・目山 6/16 岩国市立玖珂中央小学校 6 年生 38 名 担当 海田・目山 7/11 萩市立佐々並中学校 1-3 年生 10 名 担当 上・目山 7/13 周防大島町立久賀中学校 1-3 年生 72 名 担当 渡邊・目山 7/19 防府市立富海中学校 1-3 年生 39 名 担当 佐賀・目山 9/20 周南市立鼓南中学校 1-3 年生 22 名 担当 渡邊・目山 9/22 防府市立小野小学校 5-6 年生 51 名 担当 目山 9/28 下松市立久保中学校 2 年生 117 名 担当 橋本・目山 12/2 岩国市立装港小学校 5-6 年生 18 名 担当 海田・目山 以上, 小学生 107 名、中学生 288 名の計 395 名を対象に授業を実施した。
具体的内容 (概略)	山口県教育庁(学校安全・体育課学校安全班担当)から本校土木建築工学科教員への講師委嘱に基づき、県下の小学校・中学校に赴き、児童・生徒の防災対応能力を高めるための防災授業を実施するとともに、実施校教職員の災害安全に対する理解と指導力の向上に資するよう協力支援を行った。 具体的には、地震、土砂災害、風水害などの科学的理解と災害時の安全な行動について、2 授業単位時間(90 分)程度の出前授業を行い、すべての授業に参加するとともに、山口県教育庁との調整役を担った。

活動名・ 研修会名など	防府市右田地区での防災教育の指導 防府市防災危機管理課からの受託研究に関連して
関連部署	防府市防災危機管理課
実施年月日	平成 23 年 6 月～平成 24 年 3 月
実施場所等	防府市右田地区の小・中学校 および右田地区内の自治会公民館
参加対象・ 参加人数等	【防災出前授業】 6/22 右田小学校 6 年生 69 人 6/29 右田中学校 2 年生 116 人 12/16 玉祖小学校 6 年生 68 人 【教育講演会】 10/21 右田小 PTA 教育講演会 参加 69 人

	<p>【防災まちづくりワークショップ】 12/10 若宮地区ワークショップ 参加 19 人 3/29 勝坂地区ワークショップ 参加 26 人</p>
<p>具体的内容 (概略)</p>	<p>【防災出前授業】 (1) 自然災害を知る（土砂、洪水、地震など） (2) 実験 ・風船を使った圧力の実験 ・土石流発生装置を使った実験（水等は使いません） (3) ハザードマップを使った図上演習 (4) まとめ</p> <p>【教育講演会】 テーマ「家庭の防災、地域の防災」 内容 ・自然災害の話（津波・土砂災害など） ・ハザードマップを使った演習 ・災害時の行動について ・まとめ（質疑応答）</p> <p>【防災まちづくりワークショップ】 テーマ「地域の防災と避難のあり方」 内容 1. 水害について 2. 土砂災害について 3. 土砂災害の画像を見る 4. ハザードマップのはなし 5. ハザードマップを使った演習 6. 危険な個所の確認 7. 防災：わたしたちにできること 質疑応答の時間</p>

平成 23 年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 海 田 辰 将

平成 23 年度に実施、あるいは参加された FD 活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	平成 23 年度徳山地区高等学校生徒指導連絡協議会第 3 回生徒指導主任専門会議
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成 24 年 2 月 17 日（金）13:30～15:30
実施場所等	ザ・グラマシー
参加対象・参加人数等	南陽工業高等学校、徳山北高等学校、桜ヶ丘高等学校、徳山高等学校、徳山高等学校鹿野分校、新南陽高等学校、徳山工業高等専門学校、熊毛北高等学校、徳山商工高等学校、下松工業高等学校、華陵高等学校、下松高等学校、聖光高等学校、光丘高等学校、光高等学校
具体的内容（概略）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会行事（会長挨拶・出席者紹介・連絡事項） 2. 関係機関との情報交換 周南警察署担当者の方より周南地域の少年犯罪の現状について報告があった。 3. 研究協議 下記(1)~(3)の議題について各校の現状と対策について情報交換した。 (1) 調査中に携帯電話が鳴った場合の対応について (2) 通学自転車の規定について (3) スマートフォンや iPhone のアプリの指導について (4) 平成 23 年度周南広域校外補導の復伝について (5) 中国大会・全国大会（宿泊をとまなう）に参加する際の生徒の個人負担について 4. 各校との情報交換 H23 年度における各校の生徒指導状況の総括、情報交換を行った。 5. その他報告事項 6. 閉会行事

活動名・研修会名など	CAHP 操作説明会
関連部署	土木建築工学科
実施年月日	平成 23 年 4 月 25 日 16 時～17 時 30 分、1.5 時間
実施場所等	管理棟 3 階演習室
参加対象・参加人数等	CA 教員 10 名

具体的内容 (概略)	講師 (株)EDL 代表 平塚 知真子氏 CAHP 担当 大槻 真悠子氏 内容 HP 更新のための NetCommons2 の基本操作説明 CAHP の特徴と活用例の提案・質疑回答
---------------	--

活動名・ 研修会名など	高知県平成23年度「橋梁の維持・管理・補修・補強」講習会
関連部署	土木建築工学科
実施年月日	平成23年12月15～16日
実施場所等	高知高専
参加対象・ 参加人数等	大学・高専教員・民間企業・県・市役所職員 60名
具体的内容 (概略)	平成23年12月15日(木) 13:00～13:10 開催挨拶 高知工業高等専門学校教授・地域連携センター長 岡林宏二郎 13:10～14:45 「橋梁補修の最近の動向と、東日本大震災における海岸部橋梁の被害状況について」財団法人 日本鉄鋼連盟 土木委員会委員 川端規之 15:00～16:30 「コンクリート構造物の劣化について」徳山工業高等専門学校 教授 田村隆弘 平成23年12月16日(金) 8:30～12:30 現地見学 (詳細は後日ご案内します) 13:30～14:45 「現地見学に関する解説及び穴内橋の劣化状況」高知工業高 等専門学校 名誉教授 多賀谷宏三 15:00～16:15 「香川県内市町が管理する橋の現況報告と長寿命化対策」香 川高等専門学校 教授 太田貞次 16:15～16:30 総括

活動名・ 研修会名など	橋の老朽化対策研究会
関連部署	土木建築工学科
実施年月日	平成23年8月1日
実施場所等	高松高専
参加対象・ 参加人数等	大学・高専教員・民間企業・県・市役所職員 100名

具体的内容 (概略)	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ (香川高専校長 嘉門雅史) 2. 活動報告 (香川高専 太田貞次) 3. 各高専における活動報告 (参加高専) 4. 今後の進め方に関する討議 5. 話題提供 1 : 道路橋保全を取り巻く現状と課題 (土木研究所構造物メンテナンス研究センター 橋梁構造研究グループ長 桑原徹郎) 6. 話題提供 2 : 市町村が管理する橋梁の維持管理について (実践的橋梁維持管理講座客員教授 鈴木智郎) 7. 特別講演 : このままでは橋があぶない (早稲田大学理工学術院社会環境工学科教授 依田照彦)
---------------	--

活動名・ 研修会名など	周南市平成 23 年度「橋梁の点検」講習会
関連部署	土木建築工学科
実施年月日	平成 24 年 2 月 3 日
実施場所等	周南市役所
参加対象・ 参加人数等	県職員、市職員、高専教員 100 名
具体的内容 (概略)	<p>講習会の目的</p> <p>周南市では、今後増加が見込まれる老朽化する橋梁の増加に対応するため、長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の長寿命化並びに橋梁の架け替えに係わる費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する取り組みを行っております。本講習会は、橋梁の点検に携わる技術職員を対象に、橋梁について学び、橋梁点検に対する技術力向上を図ろうとするものです。</p> <p>講習会の内容</p> <p>維持・管理・補修・補強の必要性を、過去の事故や損傷の実例をスライドによって説明し、さらに現地見学により実際の損傷を確認する。その後、橋梁の通常点検における A, B, C 判定に対する解説を行う。</p>

活動名・ 研修会名など	「専門家と連携した防災出前授業」の講師
関連部署	土木建築工学科
実施年月日	平成 23 年 6 月 16 日/12 月 2 日
実施場所等	玖珂中央小学校/装港小学校
参加対象・ 参加人数等	小学校児童、小学校教員 38 名/18 名

具体的内容 (概略)	山口県教育庁(学校安全・体育課学校安全班担当)から本校土木建築工学科教員への講師委嘱に基づき、県下の小学校・中学校に赴き、児童・生徒の防災対応能力を高めるための防災授業を実施するとともに、実施校教職員の災害安全に対する理解と指導力の向上に資するよう協力支援を行った。 具体的には、地震災害などの科学的理解と災害時の安全な行動について、2 授業単位時間(90 分)程度の出前授業を行った。
---------------	--

活動名・ 研修会名など	餘部鉄橋中四国プロジェクト勉強会
関連部署	土木建築工学科
実施年月日	平成23年7月13日
実施場所等	広島大学
参加対象・ 参加人数等	高専教員、大学教員、民間企業 30名
具体的内容 (概略)	旧余部鉄橋の事例を題材にした橋梁の維持管理に関する講習会。 下記話題に関するそれぞれの立場からの意見交換がなされた。 1. 古い鋼材の材料に関する研究 2. 塗膜除去・除錆法に関する研究 3. 腐食状況の特徴と腐食環境 4. 残存耐荷力評価に関する研究 5. 腐食部材の性能回復法と回復効果 6. 将来予測に関する研究

活動名・ 研修会名など	構造物の維持補修技術研究会 (RAMS) 特別講演会 講師
関連部署	土木建築工学科
実施年月日	平成24年1月20日
実施場所等	広島工業大学広島校舎
参加対象・ 参加人数等	大学教員、高専教員、民間企業、一般、マスコミ等 200名
具体的内容 (概略)	東日本大震災における構造物被害の特徴と力学的な考え方等に関する講演会 演 題 「東日本大震災の被害と地震津波防災」 講 師 (社) 高知高専テクノフェロー理事 多賀谷 宏三 (高知高専名誉教授) 徳山工業高等専門学校 土木建築工学科 助教 海田辰将 プログラム 14:00～14:10 米倉会長挨拶 14:10～15:15 その1 (講師: 多賀谷宏三) 「宮古市田老地区、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、気仙沼市、南三陸町」

15:15～15:25	休憩
15:25～16:00	その2（講師：海田辰将） 「石巻市、女川町」
16:00～16:45	その3（講師：多賀谷宏三） 「行政の対応、防災及びまとめ」
16:45～17:00	質疑応答

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 中村 金良

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	中国地区高等専門学校技術職員研修
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年8月18～19日
実施場所等	広島商船高等専門学校
参加対象・参加人数等	中国地区高等専門学校 技術職員 22名
具体的内容 (概略)	<p>「正課教育（実験・実習・演習）以外の技術支援」をテーマとし、次の3つの項目についての研修を行った。</p> <p>①事例発表会（各高専より代表者1名） 「製作依頼の改善について」の発表を行った。 1校1名（計8名）「正課教育以外の技術支援」に対する取り組みについての事例発表が行われた。</p> <p>②「ISO 14001 本校の取り組みについて」の講話 広島商船の教員による、ISO 14001の実施状況などについての講話。</p> <p>③全体討議（全参加者） 各高専における「正課教育以外の技術支援」に対する組織体制について、各高専の現状報告、質疑応答、意見交換を行った。</p> <p>事例発表や全体討議、情報交換会を通じて各校の様々な取り組みや体制について参考になった。事例発表で問題提起、全体討議では積極的に質問し、他高専の貴重な意見を聞くことができた。</p>

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 山本 孝子

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	第7回情報技術研究会
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成24年3月6～7日
実施場所等	九州工業大学情報工学部(飯塚キャンパス)
参加対象・参加人数等	大学・高専の技術職員 72名
具体的内容 (概略)	<p>本研究会は、情報系技術職員における技術発信の場を、提供する目的で毎年開催されている。北海道から沖縄までの情報系技術職員が集まった今回の研究会において発表を行った。</p> <p>発表内容は、以下に示す日常行っている技術の創意工夫などである。</p> <p>『コンピュータ関連技術により構成される電子装置に必要なソフトウェア・ハードウェア両面の技術を並行して学習でき、さらに、先端技術も修得できるような教育課程を編成し、実践力のある技術者を育成するための教育を行っている。上記を達成するために、多くの実験・演習時間が設けられているが、その実施においては、多種多様なアプリケーションが要求される。それらのアプリケーションおよびその利用に必要なサーバならびに、利便性を備えた電算室の環境を整備している。一方で、このような環境整備下で、うまく運用できなかったシステムもあり、その要因についての問題解析をした。』</p> <p>発表後の質問において、他の大学でも xilinx の webpack を使って演習しているが、運用が大変であり、10台同時利用に留まっているとの助言があった。</p> <p>他者の発表では、省エネブームを反映した、仮想デスクトップの運用、ハードディスクの性能に依存する消費電力の実験などが印象的であった。</p> <p>また、2日目午後から「arduino を使ってみよう」と題した演習・実習が行われた。arduino による、電子回路作成と入出力制御のプログラミング体験で「AD/DC 変換の確認演習」は、本学科においてこれから取り入れようとしている内容でもあり、今後の授業に還元できる、有意義な演習であった。</p> <p>この貴重な情報技術研究会に参加させて頂いたことに感謝申し上げたい。</p>

活動名・研修会名など	2011年度第17回日本高専学会年会口頭発表
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年8月27～28日

実施場所等	鈴鹿工業高等専門学校
参加対象・参加人数等	全国の高専教員、技術職員、学生 200 名
具体的内容 (概略)	<p>1. 発表内容</p> <p>現在、デジタル化された、数値、文字、記号、画像、音声等のデータはパソコンやインターネットで気軽に扱えるようになっており、子供達の日常生活にも密接に関わっている。デジタル化されたデータは、コンピュータの内部で用いられるデータと同様に2進数で符号化されたものである。本事業では、中学生を対象に、マイクロコンピュータを用いた実習を含む講座を開催し、音楽データ作成の体験を通して、参加者が科学技術をより身近に感じる機会を提供することを目的とする公開講座を行った。</p> <p>この講座は、マツダ事業助成金により実施して、外部資金を獲得して行った公開講座で、受講料を無料として行われた。</p> <p>本発表では、講座内容と小学生を含む受講生のデジタル理解を目的とした講義および演習内容とその結果を報告すると共に、技術職員単独で採択可能な外部資金である報告も行った。</p> <p>2. 参加して</p> <p>本学会において、パネルディスカッションにおいて、高専の50年間の歴史の講演を聞き、今後の高専が進む方向は、これからの高専における教育が、これまでの「技術者教育」の分析を行うことが必要であることを再認識した。また、全国の高専の教員、技術職員の口頭発表や、教員、技術職員学生、豊橋技科大の学生のポスターセッション発表が行われた。口頭発表は教育支援、創造教育、教科教育などの分科会で発表が行われて、幅広い視点での活発な質疑応答が行われて、様々な教育支援における考え方の参考となった。</p> <p>本学会を通して、視野が広がり、大変意義ある研究会に参加させていただいたことに感謝申し上げたい。</p>

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 鳥居 恵子

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	平成23年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員組織マネジメント研究会
関連部署	
実施年月日	平成23年9月1日（木）～2日（金）
実施場所等	広島大学学士会館レセプションホール
参加対象・参加人数等	中国・四国地区国立大学法人等の技術職員 30名
具体的内容 (概略)	<p>1日目</p> <p>9:30～9:40 開会挨拶 広島大学理事・副学長 土屋英子</p> <p>9:40～10:50 講演1「研究所から見える大学技術職員」 核融合科学研究所 技術部長 飯間理史</p> <p>11:00～12:10 講演2「大学職員の専門職化の動向と課題」 愛媛大学教育企画室 副室長(准教授) 泰 敬治</p> <p>13:30～14:40 講演3「大学技術職員が目指すべき専門技術レベル」 名古屋大学全学技術センター 主席技師 河合利秀</p> <p>14:50～1600 講演4「専門職として大学図書職員の人材育成」 広島大学図書館 副図書館長 甲斐重武</p> <p>16:10～17:20 講演5「組織マネジメントから考える技術職員」 広島大学技術センター 技術統括 勇木義則</p> <p>18:00～20:00 情報交換会</p> <p>2日目</p> <p>10:00～12:00 パネルディスカッション 座長 愛媛大学教育企画室 副室長 泰 敬治</p> <p>12:00～12:10 閉会挨拶</p> <p>13:30～14:10 情報メディア教育研究センター視察 当校情報処理センターリプレースの参考ために行きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嫌いだからと言って才能がないとは限らない。 ・本当に頑張っている人にだけ神様が助けてくれる。 ・ライフステージを持つ。 ・スタッフ・ポートフォリオの開発 ・若手の人材育成(10年目研修) 等々 <p>色々な言葉が印象に残る研修でした。</p>

活動名・ 研修会名など	安否確認システム（沼津高専職員開発）説明会
関連部署	
実施年月日	平成24年3月12日（月）
実施場所等	国立オリンピック記念青少年総合センター
参加対象・ 参加人数等	独立行政法人国立高等専門学校機構教職員 64名
具体的内容 （概略）	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・システム概要 ・デモ ・設置環境 ・動作環境 ・導入作業 ・ご提案 ・質問等 <p>実際、地震を経験した高専は、4日も停電が続き、外部の情報も入って来ず、大変混乱した状況で、システムを活用できないのではないかという意見があった。本部にサーバを置いて使うことはできないかという意見もあったが、そのようなことはスタッフがなくて手が打てない状況で、できないとの回答であった。できれば、高専間でサーバを相互管理して、非常時に協力する体制を作ればいいのではないかということであった。また、スマートフォン、gmail アカウント、facebook 災害用伝言板、twitter、データセンタ、ホスティングサービス等の提案もあった。</p>

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 林 嘉 雄

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	平成23年度 国立高等専門学校機構 情報関連説明会
関連部署	
実施年月日	平成23年6月6日（月）～平成23年6月7日（火）
実施場所等	国立オリンピック記念青少年総合センター
参加対象・参加人数等	説明会参加人数：180人
具体的内容 （概略）	<p>2日間にわたって、説明会が実施された。</p> <p>① NIIにおける学術情報基盤構築へのとりくみー学認および SINET4 の展開ー 国立情報学研究所 教授 中村 素典</p> <p>② 校内 LAN システム整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全般的事項（予算や調達日程等） ● 認証基盤とファイアウォールの仕様等 ● 各校調達（サーバやスイッチ等）における留意事項 ● 共同調達の近況報告 ● 平成30年度に向けた今後の取り組み ● 質疑応答 <p>③ 教育用クラウドサービスの導入ー北九州高専の事例紹介ー高専機構 IT 研修 専門部会 北九州高専 准教授 白濱 成希</p> <p>④ インターネット上の著作権侵害と防止策 BSA 日本担当顧問 TMI 総合法律事 務所 弁護士 石原 修</p> <p>⑤ クラウド時代におけるセキュリティ対策の考え方 株式会社ラック チーフエ バンジェリスト 川口 洋</p> <p>今回、この説明会に参加して、機構が一括調達する機器の仕様を確認することができた。他高専の技術職員との情報交換が行えたことで、日常業務においての問題解決策や運用方法などの情報を共有することで、とても有益な場であった。</p>

活動名・研修会名など	平成23年度 国立高等専門学校機構 IT 担当研修会
関連部署	

実施年月日	平成23年8月18日(木)～平成23年8月17日(金)
実施場所等	αラーニングセンター水道橋
参加対象・参加人数等	参加人数：57人
具体的内容 (概略)	<p>2日間にわたって、研修会が実施された。</p> <p>⑥ 講義：情報セキュリティ</p> <p>⑦ 講義およびディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事例紹介① ● 事例紹介② ● 事例に基づいたディスカッション <p>⑧ 講義及び実習：仮想化技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ● VMwareを使った仮想化技術 <p>今回、この研修会に参加して、情報セキュリティや他校の事例紹介の講義及びディスカッションは、とても有益な場であった。また、仮想化技術の実習は今後役に立つ内容であった。</p>

活動名・研修会名など	鹿児島高専・佐世保高専の視察
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年12月5～6日
実施場所等	鹿児島工業高等専門学校、佐世保工業高等専門学校
参加対象・参加人数等	支援センター広報部門3名、鹿児島高専・佐世保高専技術職員約30名
具体的内容 (概略)	<p>本校教育研究支援センターにおける広報関連部門の3名で鹿児島高専および佐世保高専の技術室を訪問し、組織体制と主に広報活動について視察、意見交換を行った。</p> <p>質問事項については以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織体制 ・予算 ・研究活動 ・資格取得 ・報告集について ・ホームページについて <p>施設見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校における実習工場と情報処理センター <p>出張終了後、本校の支援センター会議において報告した。広報については今年度報告集から反映させた。</p>

	今回の視察、意見交換を行ったことで、お互いの業務における問題点やその改善方法などの情報共有が行え、とても有益であった。
--	---

活動名・研修会名など	平成 23 年度国立高専機構ネットワーク管理者研修会
関連部署	
実施年月日	平成 23 年 12 月 26 日 (月) ~平成 23 年 12 月 27 日 (火)
実施場所等	国立オリンピック記念青少年総合センター
参加対象・参加人数等	説明会参加人数：166人
具体的内容 (概略)	<p>2 日間にわたって、説明会が実施された。</p> <p>⑨ 一括調達物品 『認証基盤システム』に関する研修 講師：富士通</p> <p>⑩ 取組事例 鈴鹿高専准教授 渥美 清隆</p> <p>⑪ 一括調達物品 『ファイアウォールシステム』に関する研修 講師：富士通</p> <p>⑫ 『IPv6』に関する研修 講師：IAJ IPv6 デプロイメント委員会副議長 アラクサラネットワークス(株) 新 善文</p> <p>⑬ 『無線 LAN』に関する研修 講師：大塚商会</p> <p>今回、この研修会に参加して、機構が一括調達する機器の仕様や管理方法を確認することができた。また、「IPv6」に関する研修や「無線 LAN」に関する研修は、今後の運用方針などに役立つ有益な場であった。</p>

活動名・研修会名など	実験・実習技術研究会
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成 24 年 3 月 14 ~15 日
実施場所等	神戸大学
参加対象・参加人数等	国立大学法人、独立行政法人国立高等専門学校機構および大学共同利用機関法人に所属する技術職員。約 500 名

<p>具体的内容 (概略)</p>	<p>この研究会は、国立大学法人、独立行政法人国立高等専門学校機構および大学共同利用機関法人の技術職員が、日常業務で携わっているものづくりを含む「実験・実習」、「地域貢献」、「安全衛生」等に関する広範囲な技術的教育研究支援活動について発表する研究会である。発表内容は、通常の学会とは異なり、日常業務から生まれた創意工夫や失敗談も重視し、技術職員の技術力向上と交流を図ることを目的としている。</p> <p>①特別講演 神戸大学 システム情報学研究科 陰山聡教授による「スーパーコンピュータとバーチャルリアリティによる電磁気研究」の講演</p> <p>②口頭発表 発表プログラムの中で興味のある内容の発表を聴講した。他の大学や高専の発表を聴講し質疑等を行ったことで、日常業務で有益な情報を共有することができた。</p> <p>③ポスター技術発表 「情報処理センターが発行するアカウント管理について」と題してポスター発表を行った。システムについての評価や運用について討議を行った。他高専での工夫や取り組み方等の情報が共有できた。</p> <p>今回、この研究会に発表参加して大学・他高専の技術職員との情報交換が行えた。今後役に立つ、とても有益な場であった。</p>
-----------------------	--

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 石川 善丈

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	中国地区高等専門学校技術職員研修
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年8月18～19日
実施場所等	広島商船高等専門学校
参加対象・参加人数等	中国地区高等専門学校 技術職員 22名
具体的内容 (概略)	<p>「正課教育（実験・実習・演習）以外の技術支援」をテーマとし、次の3つの項目についての研修を行った。</p> <p>①事例発表会（各高専より代表者1名） 「製作依頼の改善について」の発表を行った。 1校1名（計8名）「正課教育以外の技術支援」に対する取り組みについての事例発表が行われた。</p> <p>②「ISO 14001 本校の取り組みについて」の講話 広島商船の教員による、ISO 14001の実施状況などについての講話。</p> <p>③全体討議（全参加者） 各高専における「正課教育以外の技術支援」に対する組織体制について、各高専の現状報告、質疑応答、意見交換を行った。</p> <p>事例発表や全体討議、情報交換会を通じて各校の様々な取り組みや体制について参考になった。事例発表で問題提起、全体討議では積極的に質問し、他高専の貴重な意見を聞くことができた。</p>

活動名・研修会名など	鹿児島高専・佐世保高専の視察
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年12月5～6日

実施場所等	鹿児島工業高等専門学校、佐世保工業高等専門学校
参加対象・参加人数等	支援センター広報部門 3 名、鹿児島高専・佐世保高専技術職員約 30 名
具体的内容 (概略)	<p>本校教育研究支援センターにおける広報関連部門の 3 名で鹿児島高専および佐世保高専の技術室を訪問し、組織体制と主に広報活動について視察、意見交換を行った。</p> <p>質問事項については以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織体制 ・予算 ・研究活動 ・資格取得 ・報告集について ・ホームページについて <p>出張終了後、本校の支援センター会議において報告した。 広報については今年度報告集から反映させた。</p>

活動名・研修会名など	実験・実習技術研究会
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成 24 年 3 月 14 ～15 日
実施場所等	神戸大学
参加対象・参加人数等	国立大学法人、独立行政法人国立高等専門学校機構および大学共同利用機関法人に所属する技術職員。約 500 名
具体的内容 (概略)	<p>この研究会は、国立大学法人、独立行政法人国立高等専門学校機構および大学共同利用機関法人の技術職員が、日常業務で携わっているものづくりを含む「実験・実習」、「地域貢献」、「安全衛生」等に関する広範囲な技術的教育研究支援活動について発表する研究会である。発表内容は、通常の学会とは異なり、日常業務から生まれた創意工夫や失敗談も重視し、技術職員の技術力向上と交流を図ることを目的としている。</p> <p>①特別講演 神戸大学 システム情報学研究科 陰山聡教授による「スーパーコンピュータとバーチャルリアリティによる電磁気研究」の講演</p> <p>②技術発表 「製作依頼の改善と課題」についてポスター発表をした。</p> <p>③技術発表聴講 発表プログラムの中で興味のある内容の発表を聴講した。</p>

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 井本 琢哉 _____

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	旋盤作業講習会
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年7月2日
実施場所等	山口県立東部高等産業技術学校
参加対象・ 参加人数等	在職者で職場等における技能向上を目指す技術者 18名
具体的内容 (概略)	<p>次の項目について講習が行われた。</p> <p>①旋盤の操作説明 基本的な操作から応用操作（ねじ切り、4爪チャックによる偏心加工等）についての説明があった。</p> <p>②旋盤の課題実習 実際に旋盤作業の課題を行い、操作方法の確認を行った。</p> <p>この講習により、旋盤に対する知識がさらに深まった。 今後の工作実習や製作依頼品の加工に生かして行きたい。</p>

活動名・ 研修会名など	溶接技術講習会
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年7月9日
実施場所等	周南地域地場産業振興センター
参加対象・ 参加人数等	周南地域企業20名

<p>具体的内容 (概略)</p>	<p>次の項目についての講習が行われた。</p> <p>①TIG 溶接講座 TIG 溶接についての原理、溶接法の分類、作業基礎、使用機器についての説明を受講した。</p> <p>②アルミニウム合金のイナートガス溶接 アルミニウム溶接における材料、作業法、溶接装置についての講習を受講した。</p> <p>この講習により、溶接法についての知識が身についた。特に製作依頼ではアルミの溶接が多く、役立つ内容が多かった。 今後の実習や製作依頼等に生かしていきたい。</p>
-----------------------	--

<p>活動名・ 研修会名など</p>	<p>鹿児島高専・佐世保高専の視察</p>
<p>関連部署</p>	<p>教育研究支援センター</p>
<p>実施年月日</p>	<p>平成 23 年 12 月 5 ～6 日</p>
<p>実施場所等</p>	<p>鹿児島工業高等専門学校、佐世保工業高等専門学校</p>
<p>参加対象・ 参加人数等</p>	<p>支援センター広報部門 3 名、鹿児島高専・佐世保高専技術職員約 30 名</p>
<p>具体的内容 (概略)</p>	<p>本校教育研究支援センターにおける広報関連部門の 3 名で鹿児島高専および佐世保高専の技術室を訪問し、組織体制と広報活動について視察、意見交換を行った。</p> <p>質問事項については以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織体制 ・予算 ・研究活動 ・資格取得 ・報告集について ・ホームページについて <p>出張終了後、本校の支援センター会議において報告した。 広報については今年度報告集から反映させた。</p>

平成23年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 藤本 竜也

平成23年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	2011年度オムロン制御技術セミナー（応用コース）
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年11月24～25日
実施場所等	オムロン株式会社東京事業所（品川フロントビル）
参加対象・参加人数等	高等専門学校の教員および技術職員 8名
具体的内容 （概略）	<p>オムロン社のモータドライバやPLC等を用いて、2日間の日程でサーボモータの制御に関する研修を受けた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サーボシステムの仕組みや各種装置の使用方法的説明（1日目） 本セミナーのテーマとなるサーボシステムについて、概要や制御方法の詳細について説明を受けた。また、演習で使用する各種装置の使用方法的や役割についての説明もあった。 2. PLCを用いたサーボモータ制御の説明・演習（1,2日目） ラダーを用いてPLCのロジックを組み、速度制御や位置制御といった基本的なサーボモータの制御方法に関する演習を行った。2日目には、2台のサーボモータを同時に制御して2次元の図を描く演習を行った。 3. ST言語の概要と演習（2日目） PLCで通信や情報処理を行なう場合に用いられているST言語について基本的な記述方法を学んだ。 <p>昨年に続く研修を通じて、生産管理システム等で用いられているシーケンス制御を始めとする制御技術について学ぶことができた。オムロン株式会社より寄贈を受けている装置を用いて、今回学んだ技術を学生へフィードバックできるようにしていきたい。</p>